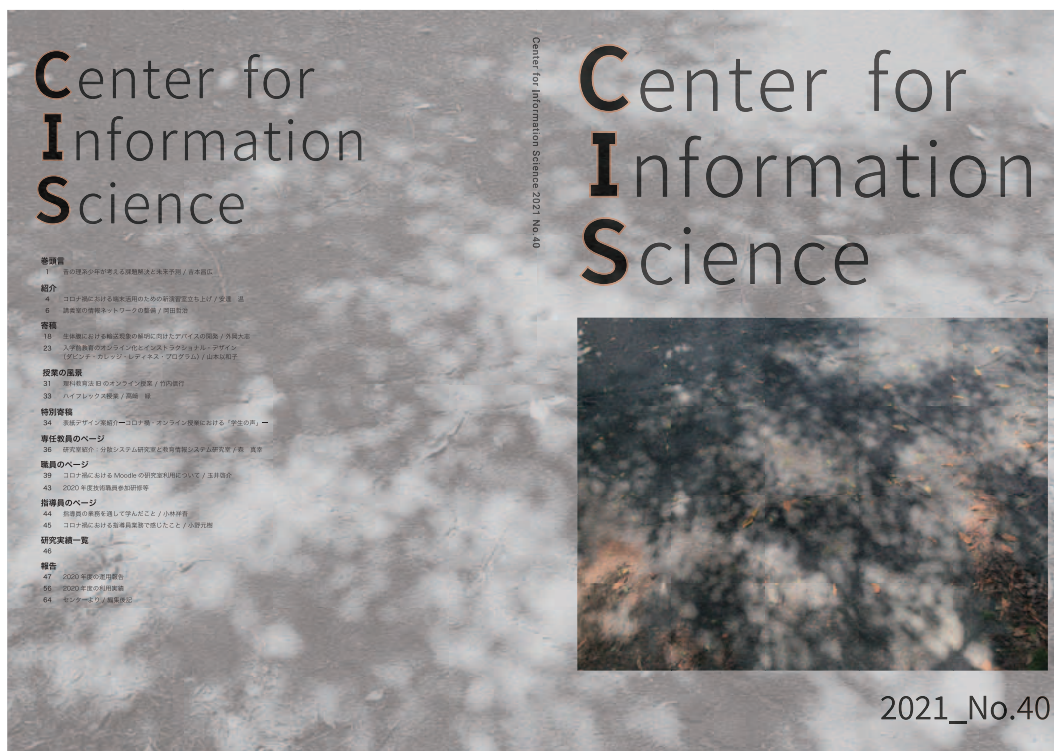




## 表紙デザイン案紹介

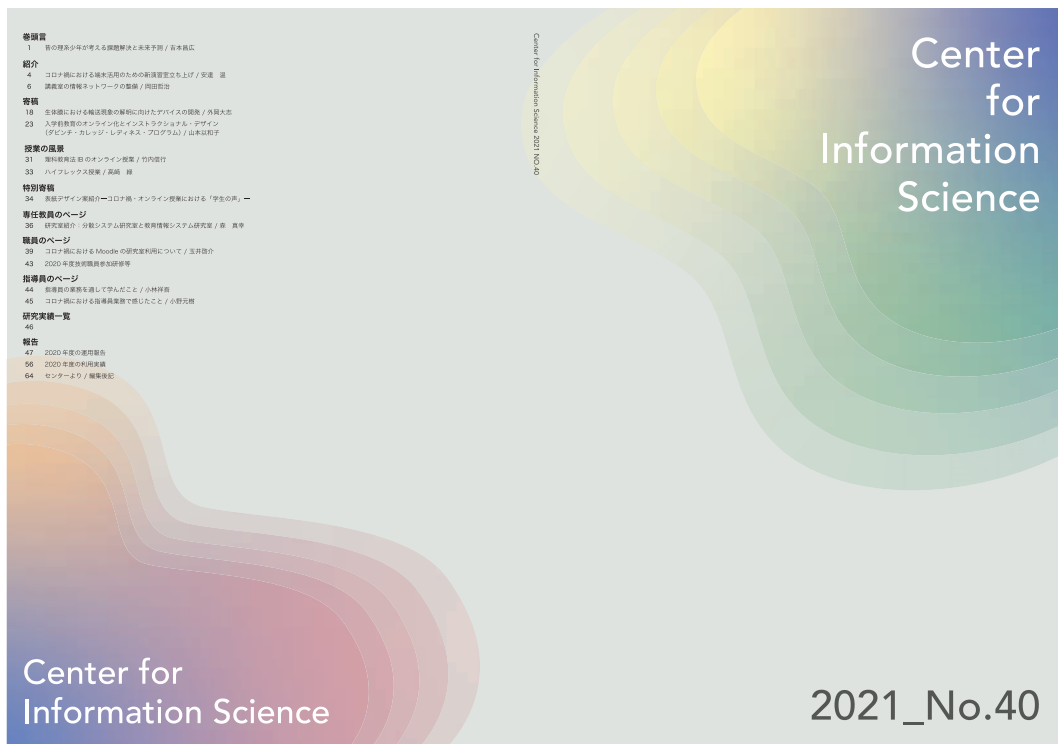
### — コロナ禍・オンライン授業における「学生の声」 —

センターの広報誌では毎号、本学西村研究室の学生デザイナーに表紙のデザイン案を複数作成していただいております。前号に引き続き、「コロナ禍」「オンライン授業」に対する思いを繊細に表現した、貴重な「学生の声」として、惜しくも選定から漏れてしまったデザインも、特別寄稿という形で紹介させていただきます。ぜひ耳を傾けてみてください。

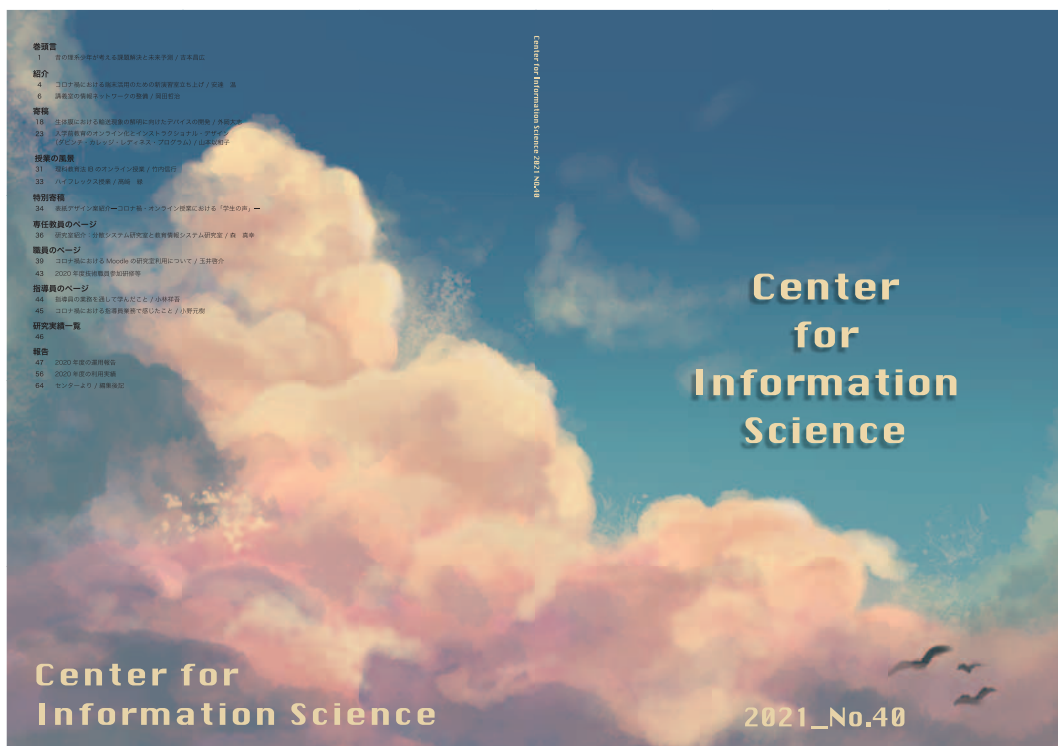


終わりなき自粛生活に落ち込んで目線を落とした先の地面にも木漏れ日が見えるように、嬉しいことや楽しいことに目を向ける大切さを表しました。

デザイン：西村ゼミ デザイン建築学課程4回生 代末奈菜



新型コロナウイルスの影響により、怒涛の年月が経っていると思います。少しずつ落ち着きを取り戻しつつも、今までのノウハウや思いが積み「重なり」、これから「広がっていく」ような様子を表現しています。



新型コロナウイルスの影響により慌ただしい情勢になり、様々な対応が必要となりました。未だ、落ち着く時は少ないですが、ノウハウや思い、努力が積み重なっていると思います。そこで「重なる」というキーワードから、雲をデザインしました。「重なり」と空の光を感じていただきたいです。

上下デザイン：西村ゼミ デザイン建築学課程4回生 石川桐子